

B&Company のインターンシップを経験した学生の声

社会人留学（文系） N. N. さん

期間：約3か月間（2019年11月11日～2020年1月22日）

内容：書類の翻訳、メールマガジン準備・配信、自主企画調査準備など



インターンシップに参加した目的

東京の観光施設で9年近く勤務後、約1年間の留学プログラムに参加し、オーストラリアの語学学校で約4か月、大学で約4か月学び、その後ベトナムでのインターンシップに応募しました。ベトナムに関心を持ったのは、オーストラリアの成熟社会と成長著しいアジアを体感し、双方向の視点を持ちたいと思ったからです。また、前職での経験から、データ分析に基づいた戦略設定の重要性を感じており、企業がデータを集める際のポイントや調査で裏付けられることを学びたいと思い、この業界を希望しました。

インターンシップで学んだこと

インターンシップ中には、翻訳業務をメインに、メールマガジン配信、お客様とのお打ち合せ、自主企画調査の準備など、様々なことに関わらせていただきました。その中で、学んだことは大きく3点あります。

1点目は、ロジカルな思考方の重要性です。これはどんな仕事でも必要なことかと思いますが、特に市場調査で、お客様の求める調査の要点を過不足なく捉えるには、必須で備えているべきことながら、私自身の不得手さを痛感しました。実際に調査プロジェクトのメンバーとして参画はしていなかったため、翻訳や調査企画の一部を体験させていただき感じたことですが、調査のアプローチは様々あるなかで、目的に合わせて調査から想定され得る結果までの全体を筋道立てて設計をすること、また調査の途

中段階や結果のまとめ段階で、お客様から様々な要望が出た際にも、常にロジカルに物事を捉え、舵取り役として軌道修正しながら、本質的に必要なことを追求していくことは、非常に難しくかつ重要なことだと思います。すぐに身に着くことでないかと思いますが、思考方の癖になるよう意識したいです。

2点目は、社員の方のプロフェッショナルな姿勢です。市場調査のプロとして、お客様から求められている以上に、本当に必要だと思う調査内容は労を惜しみなく盛り込もうとする姿勢、お客様との関係性やいただいた資料から好まれる資料形式を読みとること。限られたリソースの中で、どこまで寄り添うかは議論の余地があるものの、見えないところでの気遣いや努力が次に繋がる関係性や仕事を産み出しているのだと、刺激をいただくとともに、自身の視点を増やす勉強になりました。

3点目は、プロジェクト型の仕事の特性です。時期によって仕事量が異なり、案件が重なる厳しい状況もありますが、プロジェクトを終えた時の達成感や一体感は、チームワークを好む人にとっては、充実感を味わえる環境と感じました。私のようなプロジェクトに直接参加していないメンバーにもいつも温かく指導してくださった B&Company の皆様に、とても感謝しています。

インターンシップに参加した感想

インターンシップ期間全体を通して、国籍やバックグラウンドの異なる方と働くこと、異なる環境での生活は、今後の糧となる貴重な経験になりました。仕事のスキル不足やコミュニケーションの不自由さがあっても、自分の常識に留まらず相手を理解しようとする姿勢や、誠意を持って接することで、相手も応えてくれることを体験。今後海外と関わる仕事をする際の自信に繋がると考えています。

